

ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093 (201) 0680 FAX (201) 7354
第307号

ク レ ジ ャ ッ ト カ ー ド

広報 岩本

10月に大分で開かれた、難民移住移動者委員会・全国研修会の閉会ミサで次のような説教を聞きました。

「最近の私たちは、いろいろなクレジットカードを持つようになっていきます。クレジットの語源はラテン語のクレド(信じる)です。私たち信者は信仰というクレジットカードも持っています。クレジットカードは使うと貯えが減ってきますよね。信仰のクレジットカードもそのままにしておくと減ってきます。そのためにどうしたら良いのでしょうか。信仰のクレジットカードを空にしないためには方法があります。それは簡単です。ミサに行くことや祈ることや困った人のために働くなど、イエス様の教えを守ることです。みなさんはどうしていますか。クレジットカードが空になっていませんか」

この説教をしたのは、大分教区延岡教会の川口敏神父でした。長崎教会管区全体の外国人信徒司牧の責任司祭で、竹森神父のいとこです。今年のスタートに当たり、私はどのような信仰生活を送れば良いのかと考えた時、川口敏神父が話された、この説教を思い出しました。

年の初めにほとんどの人が、自分の無事と家族の幸せを祈ります。しかし、イエス・キリストに従って生きる私たちは、今

年の新年は自分のクレジットカードが満タンにするようにしてはどうでしょうか。みんなの幸せのために祈り、自分でできる小さな活動を始めてみませんか。

韓国の友人に会った時、「俺は今年から当分、インスタントなものは使わない運動を始めているんだ」と言い、「100円ライターは使ってはいけない」と言って、私を笑わせました。しかし、彼の言っていることには深い意味があると思いました。自分ができる小さなことから活動を始めることは、将来大きなものにつながるからです。

私が活動している滞日外国人への支援活動の初めは、時間に余裕ができれば手伝ってほしいと頼まれたので、天神町教会で行われていたスペイン語ミサに、ミニバンで小倉南区から教会まで参加者を送迎することでした。

第3日曜日だけの小さなお手伝いでしたが、その小さなお手伝いが今の活動の出発点になったのです。

社会問題に向き合う	2面
子どもたちのページ	3面
委員会等報告	4面
典礼委員会議事録	5面
レプトン会黙想会案内・手紙	6面
教会学校のページ・聖書への案内	7面
おしらせ	8面

社会問題に向き合うカトリック教会の基本姿勢

Q4「来世のいのちを待ち望みます」と信仰を告白する者にとって、世俗のことがらは二義的なことではないでしょうか？

A「来世のいのち」とは死後に始まるいのちのことではなく、「永遠のいのち」(ヨハネ 5・24、6・47)のことであり、それはすでにこの世で始まっています。この世で始められたことが来世で完成するということです。来世のいのちがこの世と関係あるからこそ、キリストは人間になられたのです。したがって、世俗のことがらと信仰を切り離すことはできません。生活を離れて祈る大切さや秘跡によって深くイエスと交わる喜びは、自分が具体的に生きている世俗の場において福音を生き、伝えるための力となっていきます。

キリストは、神の国の到来のしるしとして、この世で貧しく小さくされた人々の解放を告げられました。権力をもって他者を踏み

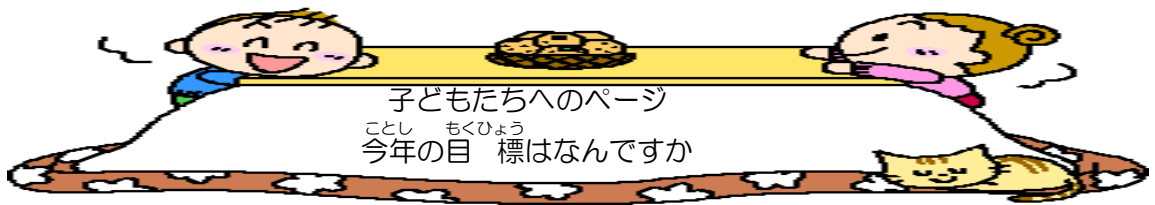
じる人、苦しむ人に関心を示さない人に対しては、厳しくとがめられました(マタイ 25・41-46、ルカ 16・25 参照)。「はっきりいっておく。このもっとも小さい者の一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである」(マタイ 25・45)。

キリストの関心はまさに、この世の人々が互いに愛し合うかどうか注がれていました。それが神を愛することでもあり、その完成が神の国の実現であるのだと教えられたのです。そのために、わたしたちはこのキリストの生き方に従って世俗のことがらを選び取っていくのです。それが信仰告白であり、「信仰を生きる」ことなのです。

Q5地上における差別や貧富の差、戦争や紛争がなくなること、それがすなわち「救い」なのですか？

A 地上におけるさまざまな問題が解決されていくことは救いに向かうことですが、それ自体が最終的な救いではありません。本当の救いとは、和解によってもたらされる神とわたしたちとの完全な一致です(二コリント 5・18 参照)。教会が具体的な社会の問題にかかわるのは、この和解を実現しようとする神の働きに参与するためなのです。地上における差別や戦争がなくなっていくことなどは、和解が始まっているしるしであり、救いが実現していく確かな歩みだといえます。

そしてこの救いは、個人的にも社会的にも、物質的にも精神的にも、すべての面ですべての人に及んでいき、そして来世において完成すること、これが神のとられた救いの方法なのです。キリストがこの世に來られ、人々の間にある「敵意の壁」(エフェソ 2・14-16 参照)を打ち壊したのですから私たちが具体的に差別や争いを無くしていくように働くことはキリストの救いのわざに参与していくことなのです。



しょうがつ 正月にいろいろなことを考えたことがありました。ある年は、今年こそは日記をつけようと思って始めたのですが、一か月も続きませんでした。

まいにちはやお 毎日早起きをしようとか、何を計画しても思ってもなかなか続きません。これを三日坊主と言います。皆さんもそんなことはありませんか。

ことし もくひょう 今年の目標について、そうとう昔に子どもだったわたしから提議があります。今年は「外で遊ぶこと」を目標にしませんか。

べんきょう 勉強することはあたりまえです。子どもには、大人になるために勉強が一番大切です。それと同じように遊ぶことも大切なことです。しかし、同じ遊ぶことでも家の中で遊ぶのと外で遊ぶことは全然違います。

むかし 昔はテレビゲームもなかったのでもんな外に出て遊んでいました。男の子は野球やサッカー、女の子は縄跳びな

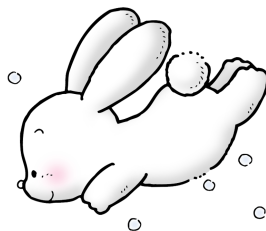
どでした。テレビゲームなどが、今もあんまりない国の子どもたちはみんな外に出て遊んでいます。たくさんの人と一緒に遊ぶのは本当に楽しいのです。

「子どもは風の子」という言葉があるのを知っていますか。

わたし いえ こ 私の子どもたちは、学校や幼稚園から帰るといつも家の中で遊んでいます。どうして遊びに出て行かないのか不思議です。

ところでにちようび 日曜日のミサが終わったあと、きょうかい 教会で遊んでいますか。みずまききょうかい 水巻教会では皆さんがボールを蹴ったりしていますが、そのように子どもが遊ぶ教会は少ないのです。子どもたちが教会に来ないのです。

ことし 今年「ミサの後も教会で遊ぶ」ことも目標にしてはどうですか。そしてまいしゅう にちようび 毎週日曜日はミサに来ましょう。きょうかい ともだち おとな 教会の友達は大人になっても友達でいられるのです。



委員会等報告

2012年12月分

12月度小教区委員会

12月2日

1. 前委員会の議事録確認

- ①11月4日 司教様公式訪問・堅信式
パーティーは、ちらし寿司 サラダ
ロールパンを手作り。3日(土)、14時から
準備。オードブルは注文(7、8人分×8皿)
②12月16日(日)街頭募金 11時～13時
グランモール水巻で行う。

2. 先月の行事報告(抜粋で記述)

- ・10月21日(日)聖堂・信徒会館ワック
スがけ 公式訪問前の大掃除もかねて
- ・11月1日(木)諸聖人の日
ミサ9時30分
- ・11月2日(金)死者の日 ミサ7時
- ・11月3日(土)召命の集い 8時出発
10名参加
- ・11月4日(日)司教様公式訪問
堅信式 11名堅信を受けた
- ・11月11日(日)小教区追悼ミサ

3. 議題

- ①クリスマス準備について
- ・駐車場について
整理係3、4名委員さんをお願いする
場所は3カ所と商工会の駐車場。韓国
会館も借りているので、委員さんはそち
らに。道路には絶対駐めない。
 - ・ミサ後のパーティーについて
すし・豚汁を作ってもらよう声をか
ける
抽選会・抽選券を今年は有料にする。
1枚100円で、売り上げは東日本大震
災の被災地へ送る
- ②正月ミサについて ミサ午前10時～
ミサ後、茶話会を行う。成人式のお祝いも

合わせて行う。新成人11名(案内を出す)
③幼稚園バス駐車場横の空き地について
6日に教区と正式契約。クリスマス前
には塀を壊す予定(業者に依頼)その後、
止め方を決める。

4. 各委員会

●堂繕委員会より

- ・正門について

現在もみの木がある所に幅4mのス
ロープを作る。もみの木はなくなる。

●財務より

教会の予算で使いたい物があれば、財
務の浜口さんまで。

5. その他

- ・司祭館2階の手すり工事
手すりが壊れそうなので、園児に当たら
ないようにコーンとロープで囲っている。
- ・もみの木の剪定 冬休みに行く
- ・神父様より
信徒達の声や意見は、まず委員会の事務
局会議で議題を検討し、必要に応じて小教
区委員会に提案し、議題を検討している。
それ以外に意見などがあつたときは、小
教区委員会のその他の議題で、提案して、
小教区委員会で検討するようにしている。

6. これからの活動

- 12月23日(日)教会学校クリスマス会
12月24日(月)降誕祭夜半のミサ
19時30分から
12月25日(火)主の降誕 10時から
1月1日(火)ミサ10時から
神の母聖マリア・成人式・車の祝福式

2012年度 第7回 典礼委員会議事録

開催日時：2012年12月12日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、山本、田中拓、三谷、俵、矢田

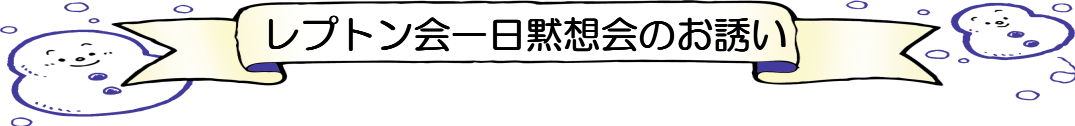
《報告事項》

1. 水巻教会共同回心式：12月20日(木) 10:30、19:30
2. クリスマス
24日(月) クリスマスキャロル 19:00~19:15 (聖歌隊)
降誕祭夜半のミサ 19:30
25日(火) 降誕祭日中のミサ 10:00
3. 30日(日) ミサ中に幼児洗礼
4. 1月元旦(火) 神の母聖マリアのミサ 10:00 成人式と車の祝別
5. 2月13日(水) 灰の水曜日(灰の式：9:30、19:30) 四旬節に入る。
6. 今後の予定
 - ・1月27日(日) 北九州信徒協典礼部会 14時 小倉教会
 - ・2月10日(日) 典礼研修会(全信徒対象) 午後2時 小倉教会
講師：白浜満神父(日本カトリック神学院)
 - ・3月2、3日(土・日) 年の黙想 中村克徳神父(黙想の家)
3日(日) 回心式

《審議事項》

1. 司会当番日程訂正と交代
12月30日(日) 吉岡英美氏(聖家族)
2013年1月6日(日) 俵富士夫氏(主の公現)
ミサの後クリスマス飾り収納?
 2. 1月中旬より灰の水曜日用の古枝回収、灰の水曜日「聖書と典礼」の手配。
 3. 信仰年に際しての典礼的取り組み(他の教会の取り組み参考) 未定
中村克徳神父による「信仰の喜び」は4月以降に
- その他
- 1月の典礼委員会を休会として、2月6日(第1水曜日)に典礼委員会を開く





レプトン会一日黙想会のお誘い

神の望まれている社会が実現されるという希望を持ち続けるために！！

テーマ：「きっと来る！ 信仰年を生きる」

指導司祭：林尚志神父（イエズス会、下関労働教育センター長）

日 時：2013年1月19日（土）10：00～15：00

場 所：カトリック水巻教会 費 用：500円（弁当代）

プログラム：10:00～12:00 講話1

12:00～13:00 昼食

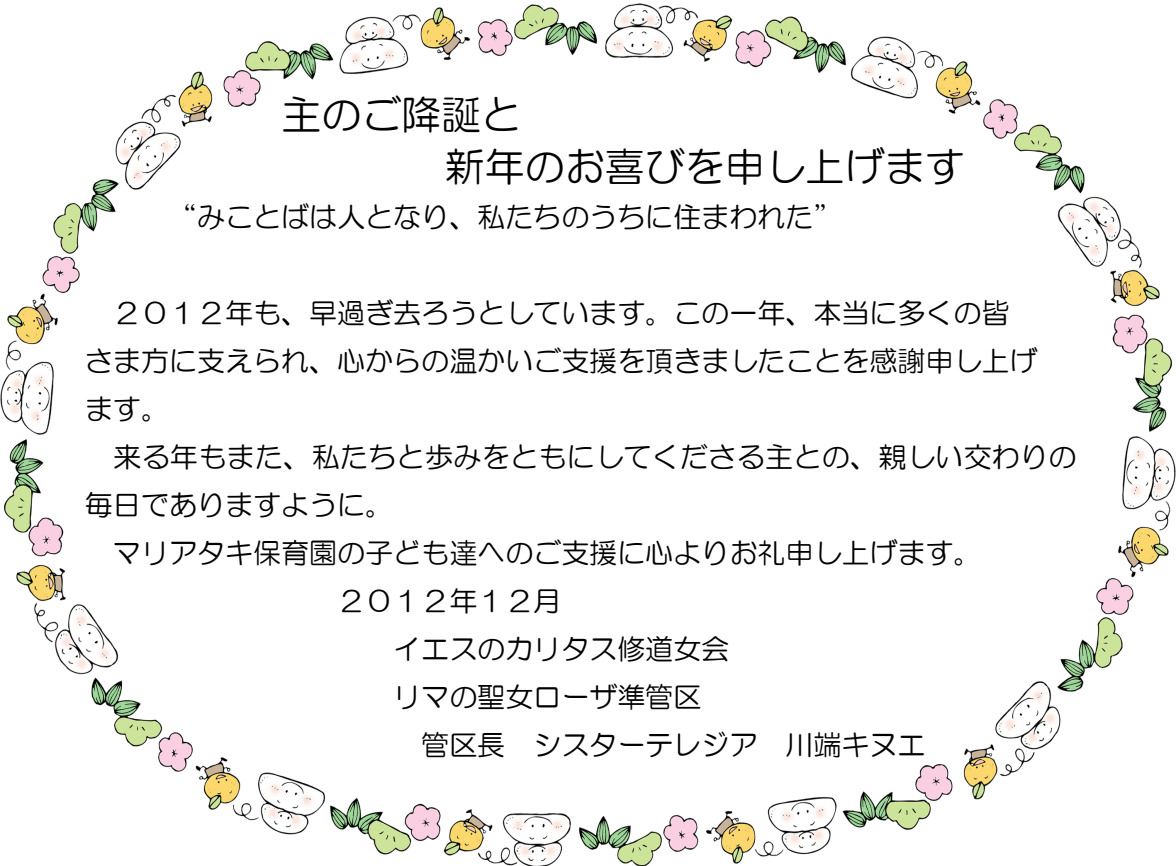
13:00～14:30 講話2

14:30～15:00 ミサ

参加申込書は聖堂後ろにありますので、名前をご記入ください。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

世話係：ペルーの貧しい子どもを支えるレプトン会 岩本ナセ（遠賀地区）



主のご降誕と

新年のお喜びを申し上げます

“みことばは人となり、私たちのうちに住まわれた”

2012年も、早過ぎ去ろうとしています。この一年、本当に多くの皆さま方に支えられ、心からの温かいご支援を頂きましたことを感謝申し上げます。

来る年もまた、私たちと歩みをともにしてくださる主との、親しい交わりの毎日でありますように。

マリアタキ保育園の子ども達へのご支援に心よりお礼申し上げます。

2012年12月

イエスのカリタス修道女会

リマの聖女ローザ準管区

管区長 シスターテレジア 川端キヌエ



教会学校のページ



11月25日

お年寄りの方へのクリスマスカードを作りました。



12月 9日



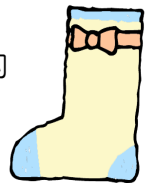
前回に引き続き、みなでお年寄りの方へのクリスマスカード作りをし、仕上げました。



《牧山神学生による、小学生部の勉強会》

- ・ 神さまのお約束について、勉強しました。

旧約聖書と新約聖書を見ながら、それぞれのお約束について一緒に勉強をしました。



聖書への案内 No.33

フィレモンへの手紙

パウロがエフェソで投獄されていた時(西暦54年) コロサイ教会のメンバーであるフィレモンへ出した短い手紙です。

彼のところから逃げ出した奴隷のオネモシがパウロのもとで信仰に入ったので、旧主であるフィレモンの元へ、オネモシを開放するように頼んだ手紙を持たせて帰しました。

奴隷に対して生殺与奪の連理を持っていた旧主のところに戻すのは大変な賭けでしたが、パウロはフィレモンの高潔な人柄と信仰に絶対の信頼を持っていましたので、このようなことをしたのです。

当時のローマ帝国は、たくさんの奴隷によって労働力が確保されていたので、奴隷を自由にしようと考えたパウロの行動は、当時の社会に大きな波紋を生んだことと思われます。

1月のおしらせ

★1月1日 新年ミサ★

午前10時からです。成人のお祝いと車の祝福式を行います。また、ミサ後に新年祝賀茶話会も行う予定にしています。

★特別献金★

○12月2日 宣教地司祭育成の日献金
47,700円
ご協力ありがとうございました。

★街頭募金★

今年も昨年同様、水巻のグランモールで行いました。

募金額 33,818円
カリタスジャパンへ10,000円
大槌ベースへ 23,818円

参加頂いた皆様、ありがとうございました

★牧山神学生 送別会★

日時：1月27日(日) ミサ後

今年度、水巻教会に司牧実習に来ていた牧山善彦神学生の实習が27日で終わります。この日のミサ後に、牧山神学生を囲んで送別会を計画しています。信徒の皆様の参加をお待ちしています。

★黙想会の知らせ(レプトン会)★

日時：1月19日(土)10:00~15:00

場所：カトリック水巻教会

参加希望されるかたは、聖堂後ろの掲示板に名前を記入してください。

なお、詳しいことは、6面に載せていますので、そちらをご覧ください。

北九州地区信徒協からのお知らせ

毎年、北九州地区信徒協は1月の第2日曜日に代表者会議を行っています、代表者会議の後に司祭と信徒の意見交換会を開催しています。

毎回テーマを変えて司祭と信徒が遠慮のない意見を出し合い、白熱した討論が行われています。この内容については2月に発行する「信徒協たより」で毎回報告していますが、紙面の制限があり要約しか掲載できません。

1年に一回意見交換をして司祭と信徒の間の垣根を取り払うようにしていますが、このようなことが行われている地区はどこにもありません。

近年は、水巻教会からの参加者からの参加者が少ない状態が続いています。意見交換会の後には親睦会も行われます。他の教会の人たちとの意見や情報交換はとても大切です、楽しい時間です。今年は13日14時からです。

この意見交換会は地区の信徒であればどなたでも参加できます。興味のある方、意見を言ってみたい方はぜひ参加してください。小教区単位で参加者名簿を送るようになっていますので参加を希望する方は教会役員へ申し入れてください。